



図書館 だより

図書館 ☎ 69♦3706

おしえて! 図書館 (レファレンス)

Q お正月のおもちがたくさん余っているの、何かおもちを使ったレシピはありますか?

A こちらの本はいかがでしょう。

お雑煮のアレンジレシピや、肉じゃが餅、おはぎ風餅など餅を使った料理、お菓子のレシピが載っています。これなら、飽きずにおいしく食べられそうですね!



**春夏秋冬餅レシピ
1年中食べたい餅料理
108**

斎藤宗厚 / 著
トランスワールドジャパン

レファレンスとは情報や本などを探すお手伝いをする図書館のサービスのひとつです。

図書館に入った本



毎月1,000冊以上の本が入ります。
一部をご紹介します♪

『この世にたやすい仕事はない』

津村記久子 / 著
日本経済新聞出版社

『いつまでも若いと思うなよ』

橋本 治 / 著 新潮社

『97歳現役医師が悟った体の 整え方』

田中旨夫 / 著 幻冬舎

『何度も行きたい絶品温泉』

主婦の友社

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

意識の改革

■館長の仕事

実は今年4月から館長をやっている。館長をやりたい、と言われたわけではなくて後輩たちから館長をやってほしいという意見でなつたようなものだから驚いて「流腸をしてほしい」の間違えではないかと思った。しかしそんな趣味はない。

館長になつたら館長室でふんぞり返っておればいいのかというところ、私が竹島水族館には館長室などなくて皆同じ部屋。そこでふんぞり

■講演の不安

館長になつて増えたのが講演活動で、水族館の復活劇を話してほしいとそこらじゅうから依頼が来る。「いいですよ、なんでも話しまつせ、ドンと来い、池の鯉」な



水族館



館長 小林龍二

竹島水族館
☎ 68♦2059

どと言つては笑顔でホイホイ引き受けてしまう。その日はいいのだが実際講演する日が近くなると不安で仕方がない。話をするのは副館長の方がうまいので「代わりに行ってきてよ」と言つても「あんたが受けたんでしょ」と副館長はあくまで冷たい。決死の覚悟で毎回講演会場へ行く。そしてうなだれて帰ってくるので副館長が抱きしめてくれる。

■あきらめちゃえば簡単

子供のころから私は内気で人と話すのは得意ではなかったし、何をやるでも不安が先にあり逃げていた。ウジウジしているとそれを見た父親はものすごく怒った。今思うとあの時ひどく怒られていなかったら性格は変わらなかつたし、狭き門だった水族館で働く夢もあきらめたい。あきらめればそれはラクだけど、そういうことが見えてくる。